

理事長ご挨拶

2010年に設立された地方独立行政法人北海道立総合研究機構(道総研)は、発足以来10年強にわたり、研究分野横断的な「総合力」を発揮できることを強みとして、多くの外部機関とも連携しながら、着実に成果を生み出してきました。

2020年4月からの第3期中期計画においては、取り組むべき課題の選択と集中の観点に立って、「食」、「エネルギー」、「地域」を研究の柱としました。これら各分野で戦略的な研究を進めることによって、地域社会の維持発展に貢献すべく努力しています。

これからも北海道というフィールドに根ざした道総研ならではの試験研究を通じて、持続可能な地域社会づくりに貢献していきたいと思っています。道民の皆様の変わらぬご支援・ご協力をお願いします。



理事長
小高 咲

道総研の概要

名称	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構(略称:道総研)
設立時期	平成22年(2010年)4月1日
主たる事務所	札幌市北区北19条西11丁目 北海道総合研究プラザ
資本金(土地・建物)	約253億円[出資者 北海道(100%)]
予算規模	約145億円(道からの運営費交付金約124億円)
職員数	約1,090名(うち研究職員約730名)
業務範囲	農業、水産、森林、産業技術、エネルギー・環境・地質及び建築・まちづくりの各分野に関する試験、研究、調査、技術開発、普及、技術支援、事業化の支援試験機器等の設備及び施設の提供等

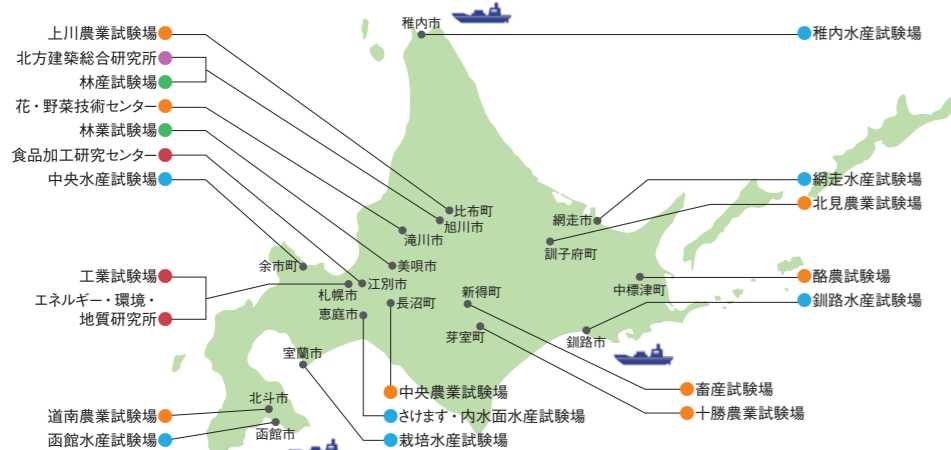
※予算規模・職員数は令和5年度(2023年度)

21の拠点

道総研は、21の試験場等、約1,090名の職員を有する試験研究機関です。法人の運営を行う法人本部と研究を行う5つの研究本部で構成されています。

法人本部(札幌市) 北海道総合研究プラザ ☎011-747-0200(代表)

農業研究本部 ●中央農業試験場 (長沼町) ☎0123-89-2001 上川農業試験場 (比布町) ☎0166-85-2200 道南農業試験場 (北斗市) ☎0138-77-8116 十勝農業試験場 (芽室町) ☎0155-62-2431 北見農業試験場 (訓子府町) ☎0157-47-2146 酪農試験場 (中標津町) ☎0153-72-2004 畜産試験場 (新得町) ☎0156-64-0616 花・野菜技術センター (滝川市) ☎0125-28-2800	水産研究本部 ●中央水産試験場 (余市町) ☎0135-23-7451 函館水産試験場 (函館市) ☎0138-83-2892 釧路水産試験場 (釧路市) ☎0154-23-6221 網走水産試験場 (網走市) ☎0152-43-4591 稚内水産試験場 (稚内市) ☎0162-32-7177 栽培水産試験場 (室蘭市) ☎0143-22-2320 さけます・内水面水産試験場 (恵庭市) ☎0123-32-2135
森林研究本部 ●林業試験場 (美瑛市) ☎0126-63-4164 林産試験場 (旭川市) ☎0166-75-4233	産業技術環境研究本部 ●工業試験場 (札幌市) ☎011-747-2321 食品加工研究センター (江別市) ☎011-387-4111 エネルギー・環境・地質研究所 (札幌市) ☎011-747-3521
建築研究本部 ●北方建築総合研究所 (旭川市) ☎0166-66-4211	●研究本部設置場所



道総研をご活用ください。

道総研の研究成果や技術・知見を生かし、技術相談、技術指導、依頼試験などにより企業や事業者の皆様の技術的な課題等の解決を支援しています。ご相談などがありましたらお気軽に下記連絡先にお問い合わせください。

技術支援制度のながれ



多くの皆様からご利用いただいております。

技術的な相談 (技術相談件数) 8,381件	技術的な指導、助言を受けたい (技術指導件数) 1,202件	試験や分析を依頼したい (依頼試験実施件数) 358件
-------------------------------------	---	--

※上記の数値は、令和4年度(2022年度)の実績

● 総合相談窓口 ●

技術に関する疑問、研究要望などのさまざまな相談に対応しています。

☎ **011-747-2900**
 ✉ **hq-soudan@hro.or.jp**

研究成果を、地域へ全道へ

研究成果の発表や施設の公開など、各種イベントを実施しています。(最新のイベント情報は、HPやFacebookをご覧ください)



各試験場の活動を知っていただくために、視察を受け入れています。
 例:札幌市近郊「食」コース 中央水試(余市町)→食加研(江別市)→中央農試(長沼町)



道総研

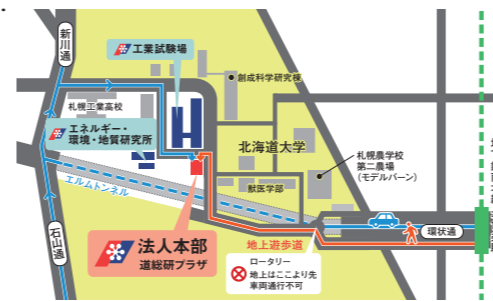
法人本部

〒060-0819 北海道札幌市北区北19条西11丁目 北海道総合研究プラザ
 TEL 011-747-0200(代表) FAX 011-747-0211
 E-mail hq-soudan@hro.or.jp URL <https://www.hro.or.jp/>
 Facebook <https://www.facebook.com/dosoken/>



法人本部へのアクセス

- 徒歩
地下鉄南北線「北18条駅」よりエルムトンネルの上「地上遊歩道」を利用して15分
- タクシー
地下鉄南北線「北18条駅」より約5分
「JR札幌駅北口」より約15分
- 自家用車の場合のご注意
新川通の「札幌工業高校前信号交差点」からのみ、お入りいただけます。



令和6年(2024年)4月1日現在(特記のあるものを除く)

ほっかいどうの希望をかたちに!

道総研

北海道の未来を研究しています。



北海道の「農」と
おいさをサポート!



農業分野



おいしい北海道米・麦の開発と育成。



肉質に優れ子牛の かつはやびらご 発育も良い種雄牛(勝早桜5)を開発。

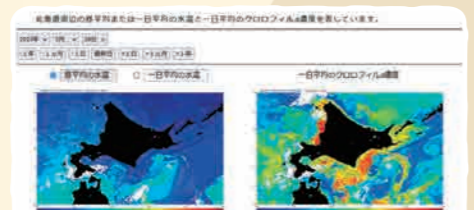


北海道の冬でも暖房に頼らない 葉物野菜生産技術を開発。

漁業を盛り上げる
多彩な調査や研究!



水産分野



人工衛星データによる広範囲の海洋環境 (表面水温、クロロフィル量) を迅速に把握できるウェブサイトを開発。



道産マイワシを高鮮度の状態で 輸送するための鮮度保持技術を開発。



資源循環型社会を目指し、発酵大豆粕を 原料とした低魚粉飼料を開発。

地域の森林づくりや
木材産業を推進!



森林分野



木材強度の改良のため、樹木のゲム情報から 強度を予測する「ゲム診断技術」を開発。

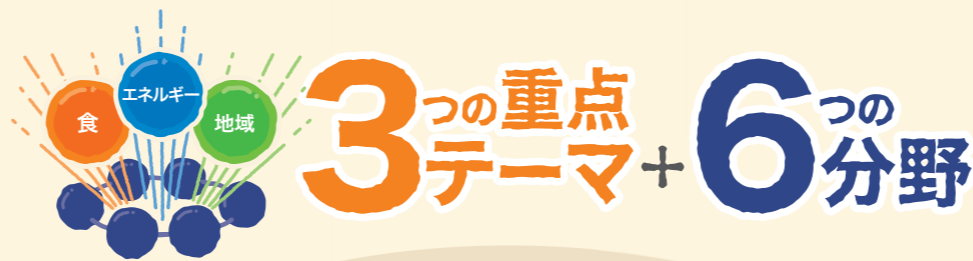


道産CLT(直交集成板)の性能を評価し、 新たな活用を提案する実験棟を建設。



北海道に自生しているツボクケモモ (英名クランベリー)の栽培技術を開発。

北海道の未来を研究しています。



総合力を発揮し、
3つの重点テーマを**探求**する。

食 北海道の新たな「おいしい」を創出し、
食産業に**可能性とパワー**を。



北海道の冬の野菜を
あまく、おいしく
「ゆきあま」シリーズ。

北海道ならではの厳しい冬の
寒さを乗り越えた野菜です。
ハウスの暖房が不要な栽培技
術で、あまく、高品質な野菜が
低コストで生産できます。



エネルギー

地域のエネルギー資源を活かし、
環境と調和した**持続可能な
循環型地域社会の創造**を。



駅前歩道への
地下水熱利用融雪
システムの導入。

地域に分布する帯水層を活用した、イニシャルコストの安
価な地下水熱利用システムを導入するプロセスを明らか
にしました。



地域

地域の課題を見すえ、
生活環境と産業振興の
視点からの**新たなアイデア**を。



市町村・地域住民の
話し合いに基づいた
地域運営組織の**つくり方**。

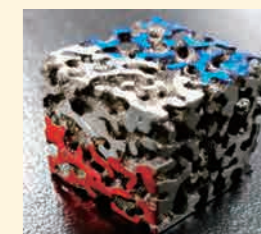
地域と一緒に地域運営組織の設立に取り組みながら、合
意形成に役立つツール開発と設立プロセスの分析をして
います。成果は「実践ガイド」として公表します。



道内企業の事業化や
商品化を技術支援!



産業技術分野



優れた特性を持つ
多孔質構造「海綿骨模倣構造」を開発。



魚を手軽においしく、もっと食べてもらう
ための加工技術を開発。



IoT関連製品の開発を手助けする寒冷地
ものづくりラボを活用してものづくり業界を支援。

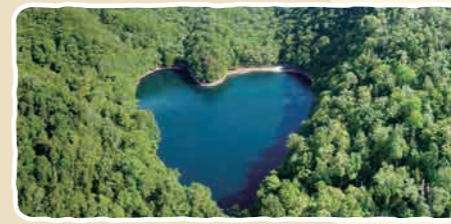
環境の保全や資源の
有効利用などに貢献!



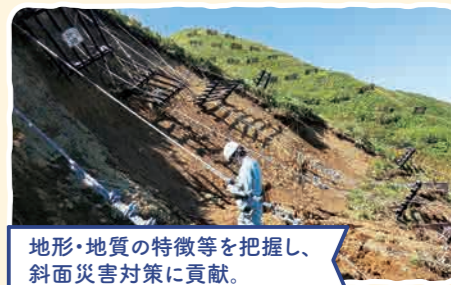
エネルギー・ 環境・地質分野



地域に適した地熱開発のため、
地熱資源量を把握し、開発可能性を評価。



専門誌「北海道の湖沼」改訂に向け、
全道湖沼の調査研究を推進。



地形・地質の特徴等を把握し、
斜面災害対策に貢献。

快適な住まいや建築、
地域づくりを研究!



建築・ まちづくり分野



持続可能な地域づくりのため、
新たな地域運営の仕組みを実践。



学校や庁舎などの省エネに大きく
貢献する新築・改修技術を開発。



道産木材の需要を拡大するため、
木材を外装材に用いた防火外壁を開発。